

地域共生社会の実現に向けた
包括的支援体制構築モデル事業
～秋田県湯沢市の取り組み～

湯沢市福祉保健部福祉課
地域福祉班 主事 高橋 公

目次

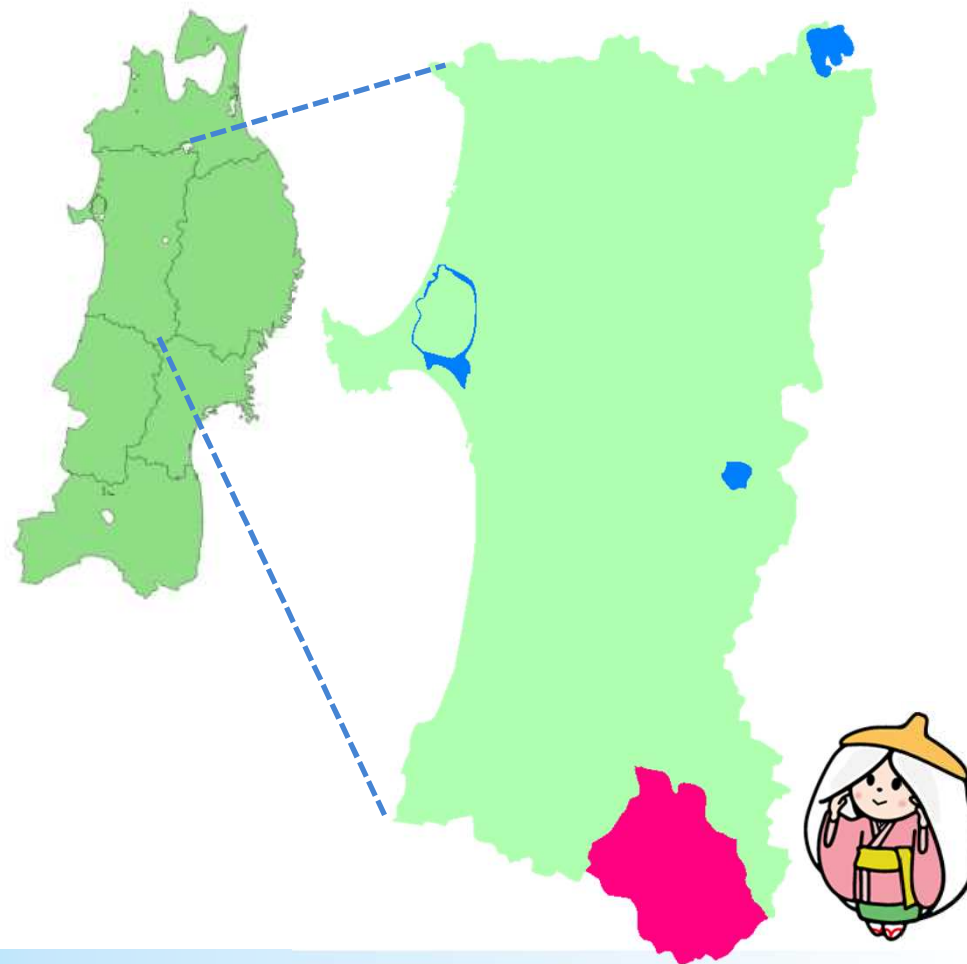
- 1.湯沢市について
- 2.モデル事業が起こした人の変化
- 3.モデル事業に取り組んだきっかけ
- 4.相談支援包括化推進員の役割
- 5.相談支援を包括的に取り組む効果
- 6.相談支援における課題
- 7.湯沢市の役割
- 8.湯沢市が目指す「我が事・丸ごとの地域づくり」
- 9.湯沢市の取り組みまとめ

1. 湯沢市について

人口 45,292人
高齢化率 37.78%
(平成31年1月末現在)

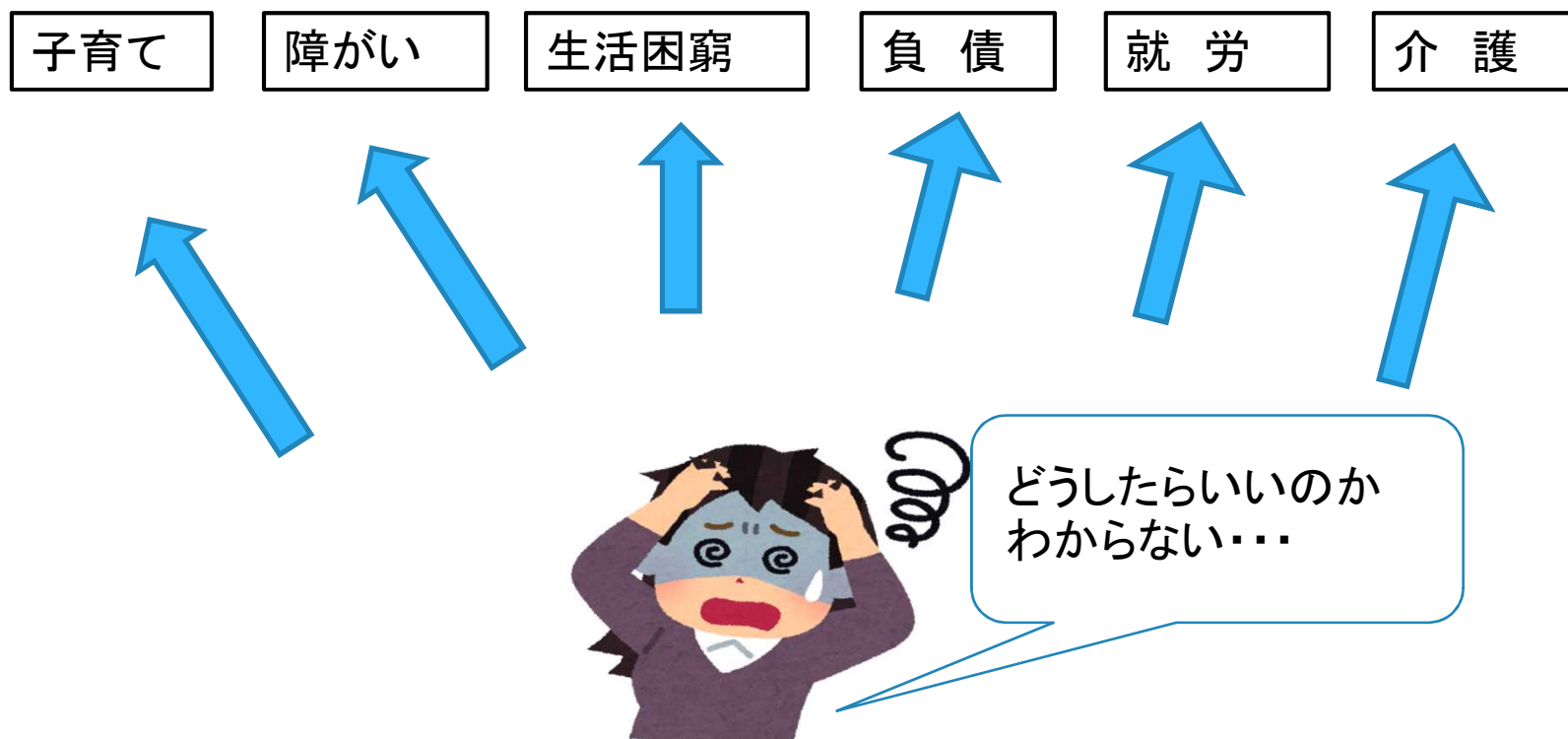
面積 790.91 km²
【履歴】
平成17年3月22日
4市町村（湯沢市・稲川町・雄勝町・皆瀬村）が合併。現在の湯沢市となる。

アクセス 【電車でお越しの方】
秋田駅から 電車で約90分
大曲駅から 電車で約40分
新庄駅から 電車で約60分
【車でお越しの方】
秋田駅から 90分
仙台駅から 180分



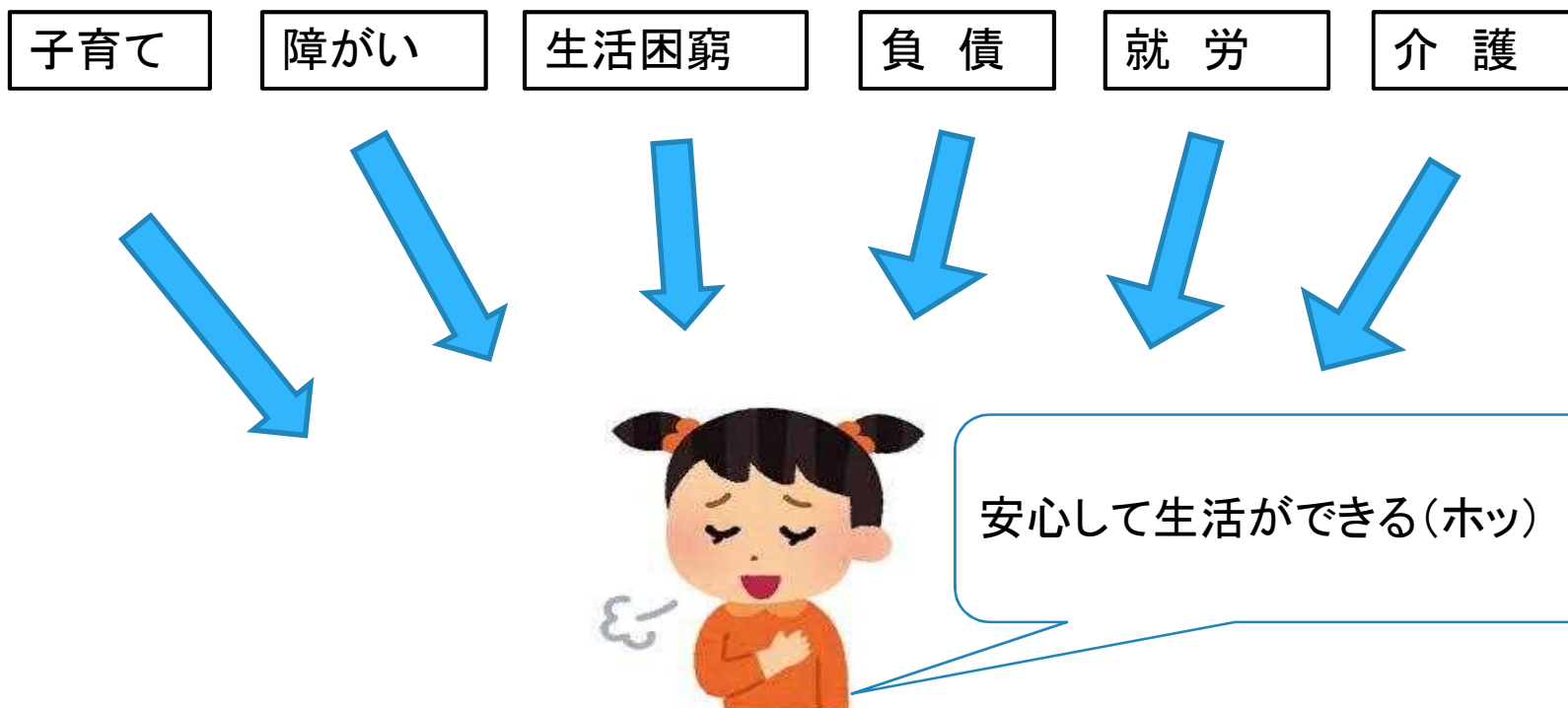
2.モデル事業が起こした人の変化

以前は・・・人が制度に合わせて相談



2.モデル事業が起こした人の変化

これからは・・・制度が人・世帯に合わせて支援



3.モデル事業に取り組んだきっかけ

平成26年3月24日 新庁舎開庁

ワンストップ窓口

お客さまは座ったまま、職員が入れ替わる体制

ワンストップ相談体制

相談者は相談室、関係職員が入れ替わって相談を受ける体制



更なる進化！！

ライフステージ・サポート体制

お元気なときも

介添えが
必要になっても

お体が動きにくく
なっても



湯沢市のこれから

妊娠期から出産 子育て期 児童 学齢期	成年期	高齢期
子育て世代包括支援センター(平成30年4月開設) 妊娠期から切れ目のない支援の提供 子育て支援総合センター		地域包括支援センター (介護予防・日常生活支援総合事業 平成29年4月1日から実施 切れ目のない介護予防を提供 平成30年4月1日生活支援コーディネーターを5名配置)
湯沢市子供の未来応援計画(平成30年4月策定) 教育・生活・保護者に対する就労・経済的支援及び気づきつな がる支援の提供	湯沢市成年後見支援センター (平成29年1月1日開設 地域包括支援センター内)	
生活困窮者自立相談支援事業(モデル事業:平成25年10月から実施 本事業:平成27年4月から実施) 自立相談支援事業・家計相談支援事業(社会福祉協議会)・就労準備支援事業(湯雄福祉会)・学習支援事業(リード学舎)・ 住居確保給付金(市)を実施		
湯沢市基幹相談支援センター(平成28年4月設置 複合施設 ぱあとなあ内) 障がいにおける総合相談窓口		
多機関の協働による包括的支援体制構築モデル事業(平成28年7月から実施) 相談支援包括化推進員2名(社会福祉法人 雄勝なごみ会)		
第3期湯沢市地域福祉計画(2019年度から2023年度)		
ライフステージにあわせた、途切れのない支援の提供を目指して！！		

3.モデル事業に取り組んだきっかけ

これからは、複雑・困難化した課題を抱える世帯に対して
多くの関係機関が連携して解決していかなければならない！！

ライフステージ・
サポート体制



多機関の協働
によるモデル
事業

マッチング！！

4.相談支援包括化推進員の役割

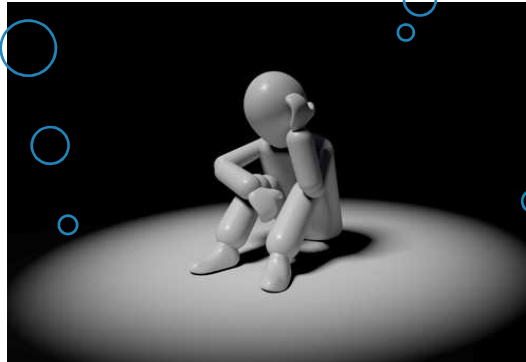
身近に複雑な課題を抱えている世帯はありませんか？

高齢の親
とひきこも
りの子

アルコール依存
で生活困窮、自
宅は老朽化

高齢の親と障
がいを持つ子
の介護

高齢の祖
母のお金
を無職の
孫が搾取



複合的な相談・
困難事例

相談支援包括化推進員は、複合的な相談の交通整理をします！！
そして適切な支援へ結びつくよう、ご案内します！！



相談支援包括化推進員

- ・各相談支援機関、支援機関の困難ケースの受付とコーディネート
- ・複雑な相談の整理
- ・関係機関の会議への招集
- ・困難ケースの方針調整とモニタリング

相談支援包括化推進会議
※各月第三水曜日定例開催
(随時開催有り)

福祉のみならず、多機関・多分野に渡る支援
機関のネットワーク構築と、支援内容の構築

雇用関係機関

医療関係機関

教育関係機関

福祉関係機関

農業関係機関

司法関係機関

児童関係機関



5.相談支援を包括的に取り組む効果

人の効果

- ・各制度毎の相談機関へ相談に行かなくても良くなった。
- ・アウトリーチ(相談員が自宅へ訪問)で相談できる。

相談支援包括化 推進員の役割

- ・複雑な課題が整理し、支援の調整、方向性の決定。
- ・支援のキーパーソンの決定。
- ・定期的なモニタリングの実施。

支援の効果

- ・世帯全体を包括的に支援できる。
- ・世帯の課題を根本的な部分から解決できるようになった。
- ・障がいを受容していない方など、これまで介入できない方に対して、別の制度から介入して支援につなぐことが可能となった。

5.相談支援を包括的に取り組む効果

専門機関の効果

- ・専門機関同士顔の見える関係性が構築された。
- ・相談員が一人で課題を抱え込まなくても良くなった。
- ・チームで支援が可能となった。



活かした内容による人材(専門職)育成 ⇒ 比較し合う活かした研修の場

6.相談支援における課題

社会的孤立のない支援

- ・本人、家族が自ら相談出来る方は支援が可能
- ・自ら相談出来ない方への支援をどのように把握するか。

世帯にキーパーソンが存在しない場合

- ・8050世帯など、高齢の親と精神的障がいと思われる子の世帯の場合 社会から長年孤立しており、世話をしてくれる方が周りに存在せず、支援の介入が困難

税との連携



手続き窓口までの交通手段

- ・滞納の状況など本人でなければ、情報提供が出来ないため、必ず税の窓口へ本人がいかなければならない。

- ・税の窓口など関係機関へ手続きへ、高齢、障がい、困窮などの方は交通手段がないため、支援に時間を要する。窓口に来庁すれば、同行支援が可能。

6.相談支援における課題

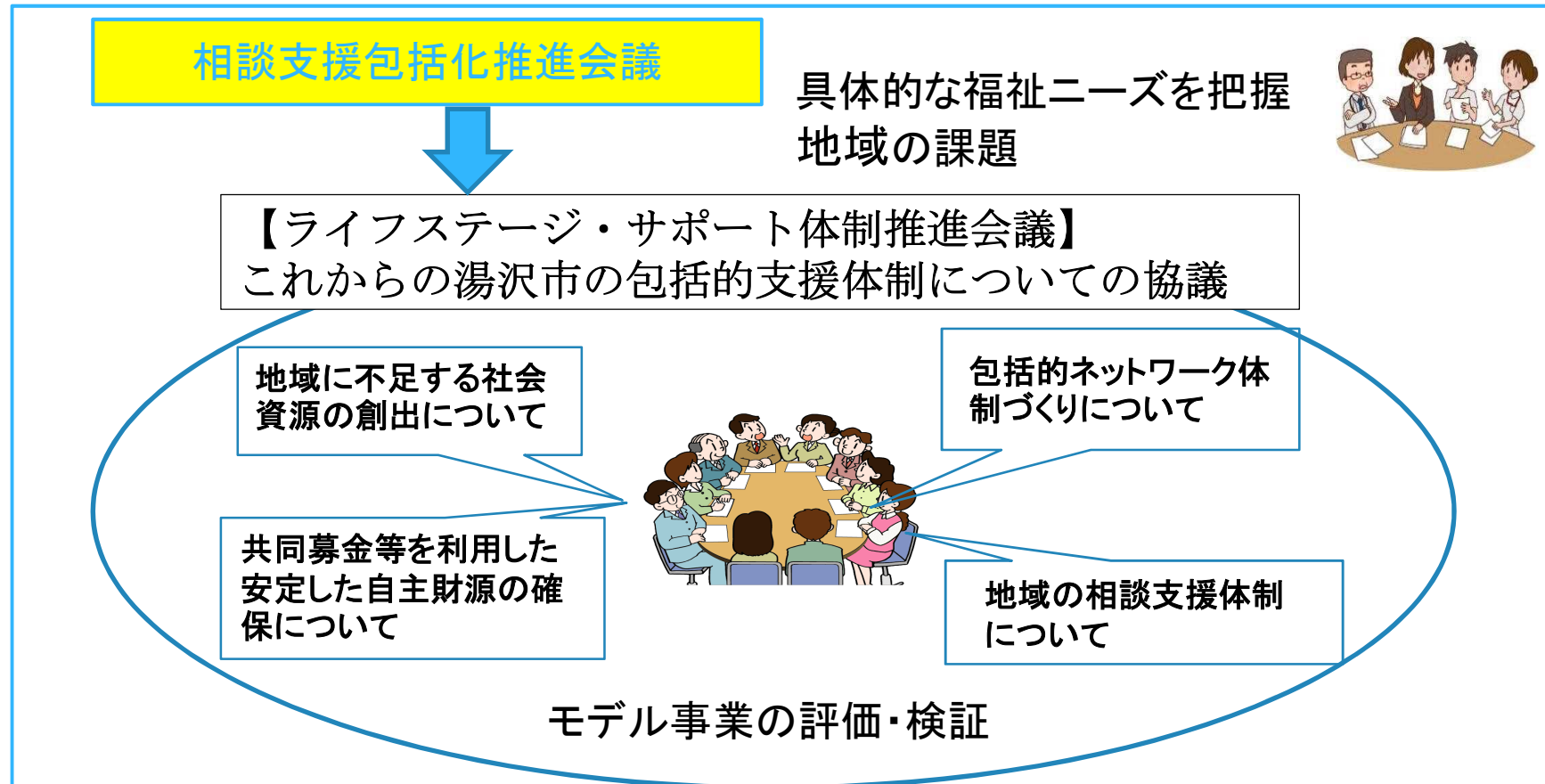
自宅の老朽化

・困窮者世帯の場合、自宅も老朽化しており、雪国においては、一冬過ごすのも危険な状態である。

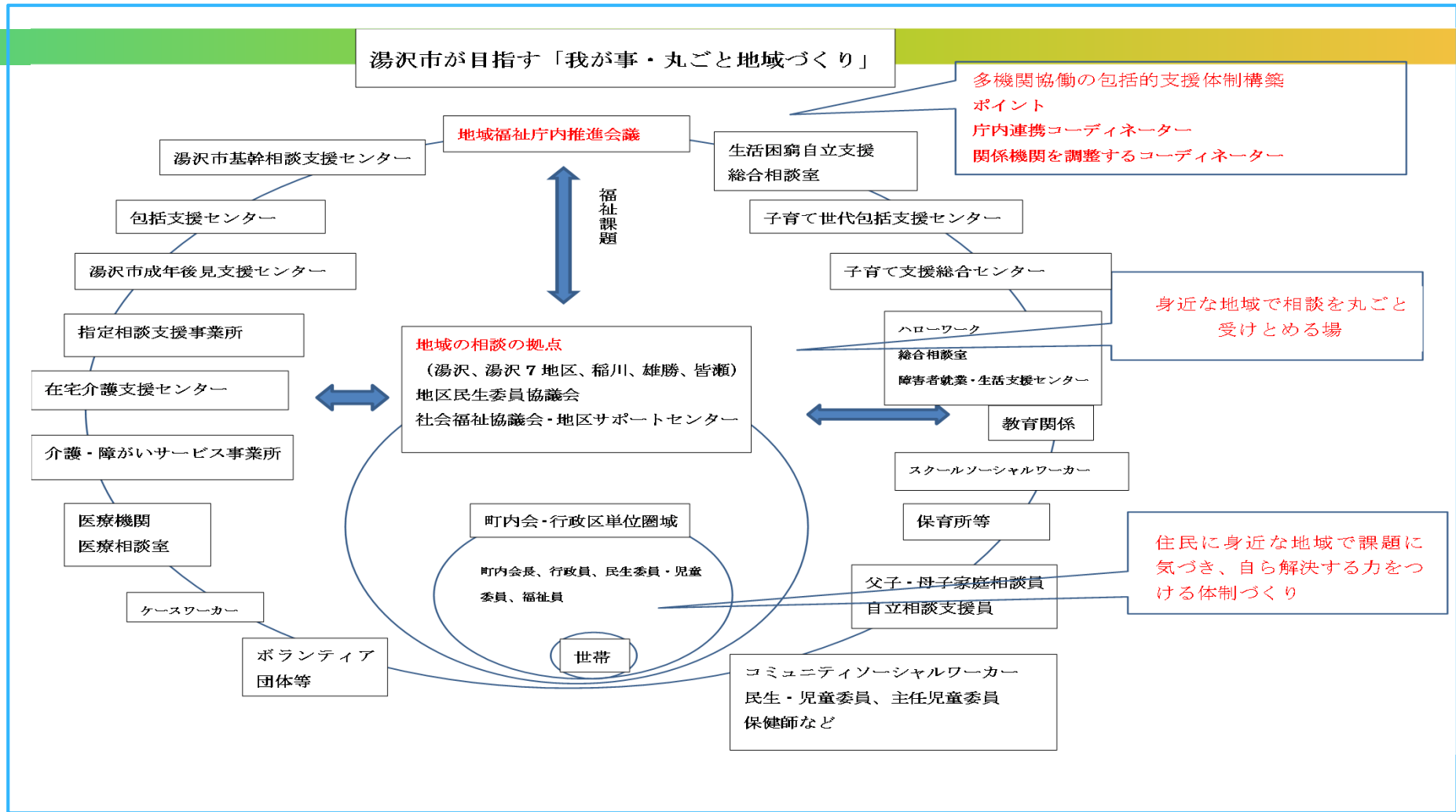
雪下ろしの問題

・高齢者、障がい者などで、自分で雪下ろしが出来ない、業者へ依頼することも出来ない場合

7.湯沢市の役割



8.湯沢市が目指す「我が事・丸ごと地域づくり」



「相談をつなぐシート」の活用(別添参照)

「相談をつなぐシート」 の利用について

平成30年11月
湯沢市福祉保健部福祉課

身近なところで悩みを抱える方に「気づき」・「丸ごと受けとめ」・「専門機関につなぐ」・「包括的に支援する」ためのツールとして活用



「相談をつなぐシート」の活用を機会に
他人事を「我が事」とした意識の醸成を図り
「我が事・丸ごと地域づくり」の推進を目指します！！

7.湯沢市が目指す「我が事・丸ごと地域づくり」

第3期湯沢市地域福祉計画 ～これは湯沢市の地域のしあわせを目指す計画であります～

2019年度から2023年度 5ヶ年計画

基本理念

支え合い、誰もがつながる共生社会の地域づくり

基本施策1 みんなが役割をもち、参加してつくる共生社会の地域づくり

参加協働

- ①市民参加と協働のまちづくり
(重点施策1)
- ②多世代交流やサロン活動の推進
- ③ボランティアなど市民活動が積極的に行われる地域づくり
- ④社会福祉法人や企業などの地域貢献の推進

基本施策2 気づき、つながり包括的に支援する地域づくり

気づき
つながる

- (重点施策2)
- ①身近なところで気づき、つながり丸ごと相談ができる体制づくり
- ②多機関が連携した包括的な支援体制づくり

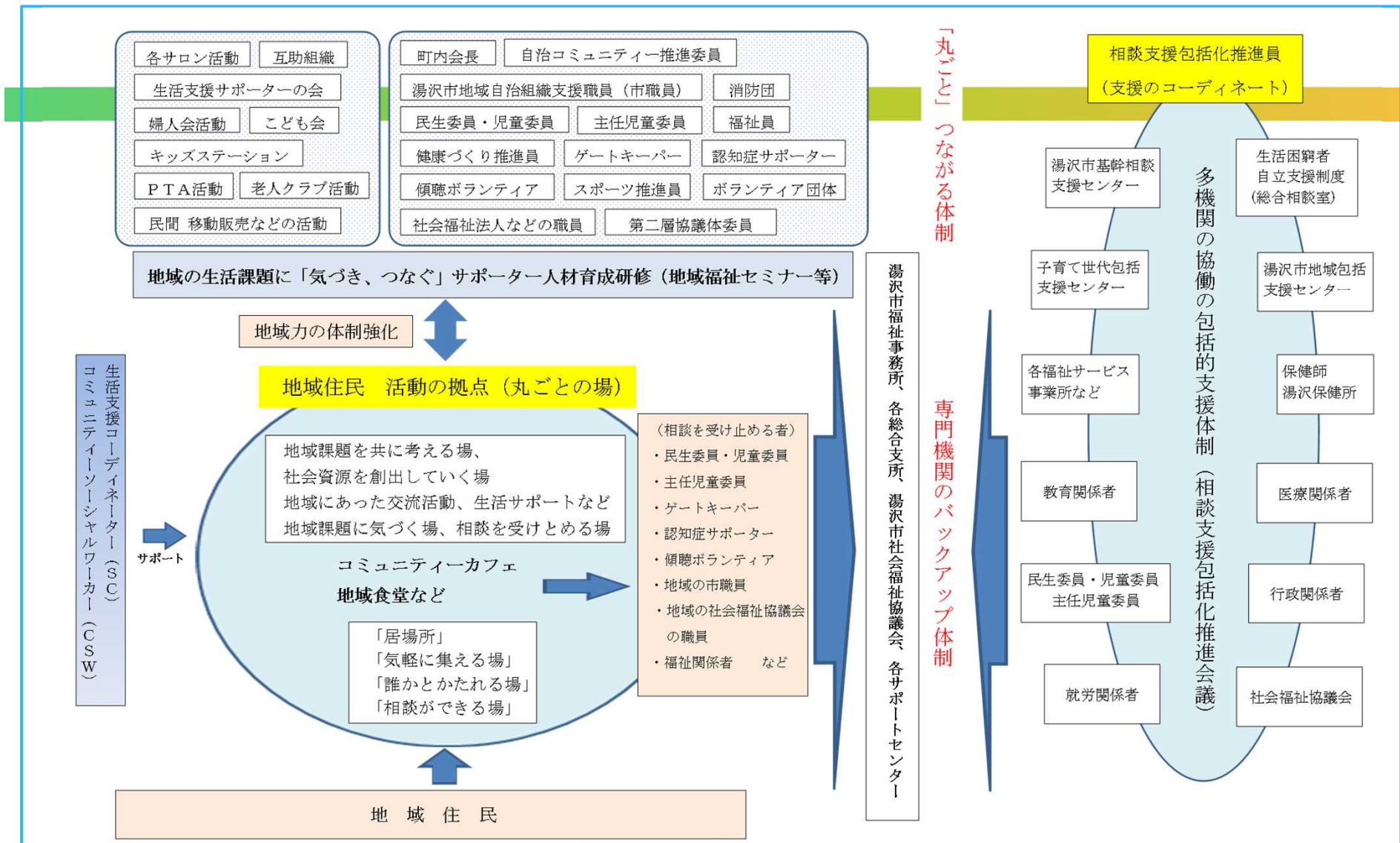
安全・安心

基本施策3 住み慣れた地域で安全に安心して暮らせる地域づくり

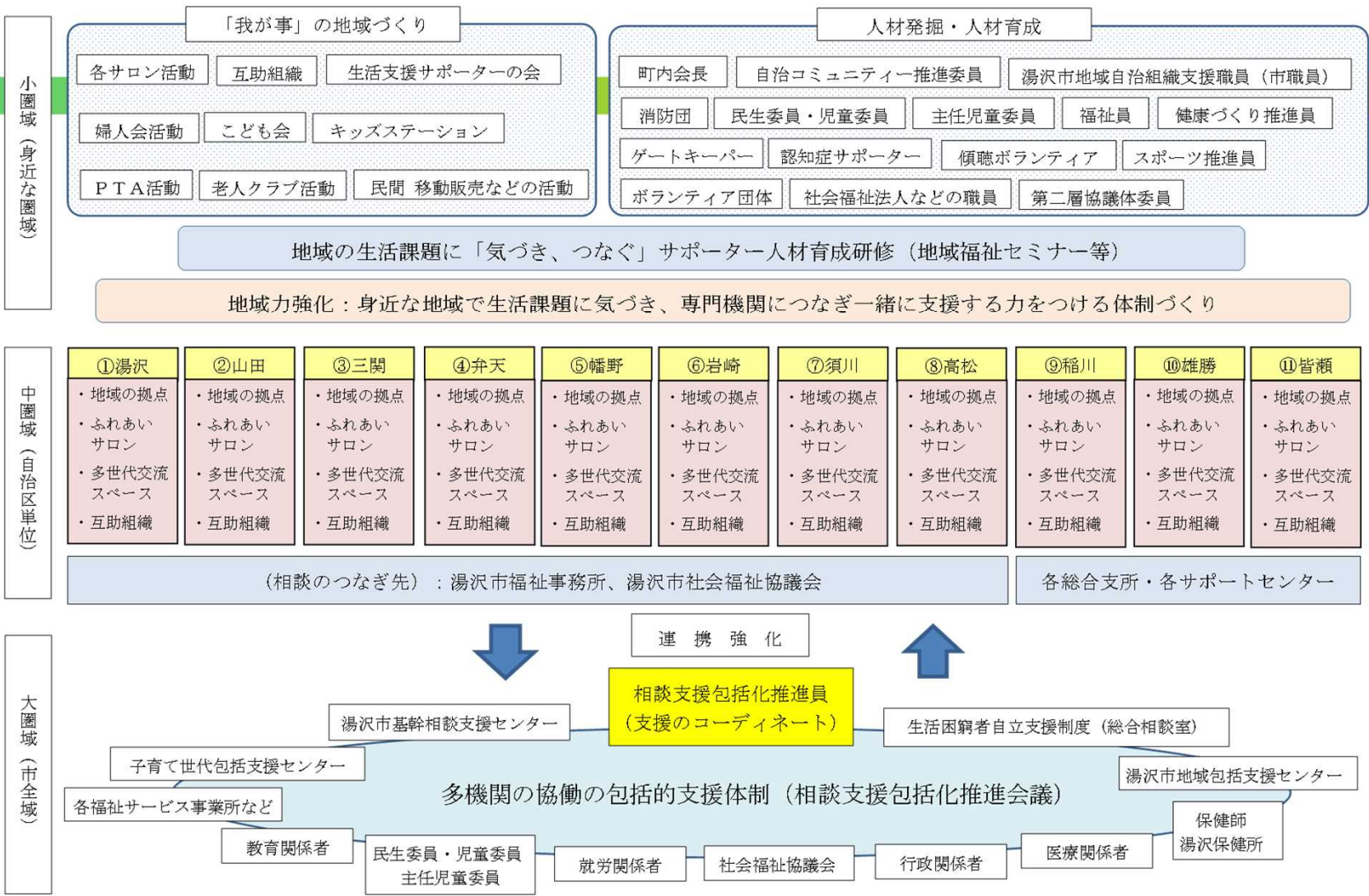
- ①災害や緊急時に互いに支え合い助け合える地域づくり
- ②教育、就労、住宅、交通、環境、まちづくりなど生活関連分野が連携し、安心して暮らせる環境づくり

～こころあたたかな共生社会の実現～

8.湯沢市が目指す「我が事・丸ごと地域づくり」



8.湯沢市が目指す「我が事・丸ごと地域づくり」



8.湯沢市が目指す「我が事・丸ごと地域づくり」

地域住民が集う拠点

子どもから高齢者、障がいがある方など多様な人が集まることで、お互い出来ないことを助け合うためにいろいろな仕事や役割の創出



地域力強化

地域の支え合い体制づくり

9.湯沢市の取り組みまとめ

これからモデル事業に取り組む予定の自治体の皆様へ...

◎地域共生社会の実現のために巻き込んでいきたい人たちと
ビジョンを共有できる絵を描いてください！

⇒目指す地域の姿、包括的支援体制などを概略図(絵)として描いてみる。

⇒絵があれば、住民への周知、利害関係者とのビジョンの共有に活用できる。

⇒人事異動で前任者がいなくなっても、絵は残り続ける。

9.湯沢市の取り組みまとめ

最後に・・・

2019年10月10日(木)・11日(金)

湯沢市を会場に

「第2回地域共生社会推進全国サミットinゆざわ」
が開催されます。

皆さん是非お越してください
お待ちしております！！

